

# 委員長報告

## 一般会計

総務産業・社会文教常任委員会では、付託された令和2年度一般会計予算案について、慎重に審査し、その結果を委員長が本会議で報告した。

総務産業常任委員会

### スマートエネルギー 設備導入

委員長 滝沢幸映

#### 歳入

法制改正等により  
法人税の減

問 国有資産等所在市町村交付金および納付金の内容は。

答 県営住宅と高校職員住宅の固定資産税相当額が、県より交付される。

問 個人町民税と法人町民税の見込みは。

答 個人町民税は、当町は給与所得者が全体の85%であることから、統計調査等から前年対比2500万円の増を見込んでいる。

法人町民税は、法人所得の減少と、法人税割の税制改正による減少により、前年対比2億3500万円減の見込みである。

#### 歳出

総務課

会計年度任用職員

問 新年度の常勤職員と、会計年度任用職員数は。

答 一般会計予算において、常勤職員は135人。会計年度任用職員は181人で、うちフルタイムの任用が25人、パートタイムの任用が156人の予算計上である。

問 固定資産の評価替え業務の内容は。

答 3年ごとに実施しており、現在は令和3基準年に向け、評価替え業務として行われている。2年度は路線価の算定・調査報告書作成等である。

#### 会計室

公金収納手数料

問 公金収納手数料の件数の見込みは。

答 金融機関等での納付が1万1500件、コンビニでの納付が1万件で総額104万円を見込む。

#### 企画政策課

総合計画策定

問 総合計画策定委託の内容と手順は。

答 住民アンケート調査の集計と分析のほか、基

礎調査、基本構想等の策定支援などを委託する。

住民アンケートの分析結果も踏まえ、計画素案策定を進め、早い段階で骨子を示したい。

問 国勢調査のスケジュールは。

答 令和2年10月1日を基準日とし、9月中旬に調査票を配布、10月中に回収予定である。

問 スマートエネルギー設備設置工事と設備の内容は。

答 停電時の電力確保と、平時の低炭素化実現のため

め、災害時等の避難場所となる村上小学校に蓄電池設置の工事を計画している。他の小学校についても順次検討していく。

#### 商工農林課

新工業団地

問 水利施設個別計画の内容は。

答 農業用施設の長寿命化計画策定を行う。

問 新工業団地整備の計画予定は。

答 令和2年度は、2事業の実施を予定している。団地造成事業は町土地

開発公社に委託し、農振除外申請や開発行為申請書作成と、用地の一部取得を始める予定である。

また、基幹道路となるA09号線道路改良事業は、各種測量を行い用地取得を予定している。

問 「さかきものづくり展」の内容は。

答 10月上旬の開催を予定して、今後実行委員会を立ち上げて内容の検討を行う。「ものづくりの



村上小 太陽光発電システム

まち坂城」の魅力を町内外に広く発信し、町内企業の認知度の向上と、次世代を担う若者のUIJターン就業の促進につなげる機会とする。

### 建設課

**しなの鉄道車両更新**

**問** 道路橋梁費の橋梁修繕工事の場所は。

**答** 昭和橋、鼠橋、役場国道入口を計画している。

**問** 住宅の長寿命化計画の内容は。

**答** 平成22年に作成した計画の更新で、公営住宅団地の現状把握とライフサイクルコストの縮減等を図るための計画である。

**問** しなの鉄道整備負担金の内訳は。

**答** 元年度から8年間、52両の車両更新を予定し、沿線市町村は、出資割合に応じ負担額が割り当てられる。

### 社会文教常任委員会

## 各種計画の策定・更新

委員長 大森 茂彦

### 住民環境課

**防災計画策定**

**問** 地域防災計画策定の内容は。

**答** 町地域防災計画の見直しに着手する。令和元年東日本台風災害を受けて大きく見直される国計画及び県計画との整合を図り3年度に策定の予定。

**問** マイナンバーカードの交付実績及び交付率は。また、普及させていくための方策は。

**答** 本年2月末現在、累計で1468件、交付率は9・85%。役場に来庁された町民の方に対し、その場で申請手続きができるようタブレット端末を準備している。

**問** 資源回収奨励金事業

の内容は。

**答** PTA、育成会など町内の非営利団体が回収した資源物の量に応じて奨励金を交付している。

### 福祉健康課

**障害者計画策定**

**問** 社会福祉協議会の介護事業収入が減少している要因は。

**答** 施設への入所等で社会福祉協議会が行う在宅サービスの利用が減少しており、特に、訪問介護は、平成23年度と30年度の比較で約4割減少している。

**問** 障害者計画等策定委員の内容は。

**答** 各計画相互の整合を図る必要があることからノウハウのある専門コン

サルタントへ委託を予定している。

**問** 災害見舞金は何件分か。

**答** 住宅の全壊2件、半壊2件、床上浸水2件分を見込んでいます。

**問** 胃検診と大腸検診の委託料の内訳は。

**答** 胃検診は280人、大腸検診は1135人分を計上した。

### 教育文化課

**学力向上**

**問** 児童生徒支援員の人数は。

**答** 学力向上・学習習慣形成支援員を小学校ごとに各3名、理科支援員を坂城・村上小学校に各1名。坂城中学校にフレンドリールーム支援員を1名、町全体で外国籍児童支援員を1名配置する。

**問** 大峰教室等自立支援事業についての内容と通室しない児童生徒の対応は。

**答** 登校が困難な児童生徒の学校生活への復帰を

目指し、指導員が学習指導や面談、電話相談、学校訪問などを行っている。また、教育コーディネーター、教育・心理カウンセラー及び県のスクールカウンセラーが学校や家庭を訪問し、学校と連携をとりながら対応している。

**問** 校舎等改修工事の内容は。

**答** 南条小学校プールシート改修工事、坂城小学校昇降口タイル改修工事、村上小学校地下タンク改修工事である。

**問** 分館等施設整備事業補助金の内容は。

**答** 立町公民館の建替え(新築)工事に加え、新地公民館トイレ改修及び下水道接続工事、金井振興センタートイレ男女仕切設置工事、田町公民館トイレ全般、床、雨樋等改修工事、南日名公民館空調設備工事、新町公民館床改修工事、月見公民館床改修工事への補助である。

**問** 遊園地の遊具管理の内容は。

**答** 点検、新規、撤去、施設等の管理費用であり、事業費の2分の1の補助で、上限は5万円である。元年度は鼠育成会の回転遊具の修繕に対し補助を行った。

**問** 給食センターで地元の食材はどのくらい使用しているのか。

**答** 現在7団体の生産者から、食材全体の約14%にあたる地元産材を使用している。



立町公民館